

14. 東京都北区飛鳥晴山苑地域包括支援センター(令和元年・2019年度)

飛鳥晴山苑圏域の総人口22710人、高齢者人口5646人、高齢化率24.8%（令和2年1月1日現在）の状況下において、北区の一人暮らし高齢者世帯は相変わらず増加傾向にある。加えて高齢者のいる世帯全体に占める割合は、東京都の水準を上回っており、北区ではとりわけ高齢者の孤立化などが大きな問題となっている。この問題を解決するには、「自助」「公助」だけではなく、地域の力を活かした「互助」の重要性がますます高まっており、各自治会や地域における活動の担い手不足は大きな課題となっている。

そこで、私共飛鳥晴山苑の高齢者あんしんセンターでは、令和元年度、高齢者が住み慣れた地域で、要支援、要介護状態となることの予防、軽減、悪化防止に向けた取り組みが特に重要とし、特養施設の空きスペースを活用した「介護予防体操サロン」を企画。地域のボランティアの方の協力を得ながら、週4回、1回10人程の参加者に北区推奨の「さくら体操」「お口の体操」「筋力アップ体操」などを実施。自立支援・重度化防止に取り組んできた。また、飛鳥晴山苑エリアの高齢者の外出・移動を支援することで、健康といきがづくりを支援し、積極的な社会参加の促進が出来ることを目的にデイサービスの送迎バスを活用しサポートバスを企画を行った。認知症事業では、昨年度から「認知症サポーターによるボランティアの育成」に力を注いだほか、商店・事業所に向けた認知症サポーター養成講座などを実施し、認知症の方に配慮した、安心して暮らせるまちづくりに取り組んできた。その他、地域のシニアクラブや自治会サロンをはじめ、様々な地域の行事へ参加し、令和元年度も地域包括ケアシステムの構築に向け地域の関係機関、関係団体の方との顔の見える関係づくりに積極的に取り組んだ。

●事業実績

1. 介護予防ケアマネジメント事業

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、元気で自立した生活を送れるように地域全体で介護予防を支援する取り組みを介護予防拠点施設等関係機関と連携。要支援1.2と認定された方や笑顔で長生き調査（基本チェックリスト）により生活機能低下がみられた方が利用できる事業の取り組みを実施した。行政機関が主催の「おたっしゃ教室」の他にH30年5月から実施している地域の要介護認定を受けていない高齢者に向けて介護予防体操教室を実施。参加者の介護予防・フレイル予防の習慣をつけ心身機能向上につなげられるよう介護予防リーダーの協力を得ながら開催した。

表1. 平成31年度（R元年）地域支援事業参加人数

対象者	事業名	実施件数
二次予防対象者	おたっしゃ事業	25件
	介護予防通所事業	6件
一次予防対象者	介護予防で元気はつらつサロン (1回開催)	15名
65歳以上の要介護・支援認定のない方	飛鳥晴山苑独自・開催事業	928名

② 介護予防支援事業

介護予防ケアプラン作成件数は前年度3335件だった。

表2. 平成31年度(R元年) 要支援1・2(ケアプラン作成件数)実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	179	175	173	173	169	163	160	155	149	144	142	136	1918
要支援2	106	109	112	114	118	120	122	126	126	125	128	127	1433
合計	285	284	285	287	287	283	282	281	275	269	270	263	3351

2. 総合相談支援事業

表3-1. 平成31年度（R元年）総合相談支援件数（延べ）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規件数	17	28	28	23	14	12	15	24	27	24	21	23	256
件数	559	553	517	551	536	593	484	572	624	648	573	654	6864

表3-2. 平成31年度（R元年）相談内容別件数（延べ）

①介護保険制度・サービスに関すること	3218
②施設入所に関する情報提供等	107
③経済的問題に関すること	127
④医療・保健に関すること	700
⑤認知症等、精神疾患に関すること	290
⑥成年後見制度に関すること	75
⑦虐待（疑い含む）に関すること	240
⑧保健福祉制度・サービスに関すること	516
⑩ケアマネ支援	380
⑪その他	2984
合計	8637

※総合相談では、虐待に関する相談（疑い含む）が年々増加傾向である。（前年度109件）H31年度は、北区高齢者虐待防止センターと北区全高齢者あんしんセンター社会福祉士により高齢者虐待についての基本姿勢と高齢者虐待対応の窓口となる機関としての役割、予防に向けた取り組みなどを記した「北区高齢者虐待対応マニュアル」を改定作成した。高齢者虐待への対応には、多様な切り口が求められ複数職種によるチームアプローチが不可欠であり連携しながら高齢者、養護者への対応を行った。

表4. 平成31年度(R元年) 委託事業実績

事業名	回数	実施月
連絡会・会議		
高齢者あんしんセンター長会	3	6・2・3月
地域包括支援センター連絡会	11	毎月(第3木曜日)3月中止
社会福祉士連絡会	3	5・9・1月(第3木曜日)
主任ケアマネ連絡会	3	6・10・2月(第3木曜日)
看護職連絡会	2	7・11月(第3木曜日)
生活支援体制整備事業連絡会	5	4・6・7・10・1月
滝野川圏域地域包括支援センター連絡会	5	4・6・9・12・3月(第4木曜日)
介護予防事業担当者連絡会	2	6・10月
介護予防事業評価検討会	1	1月
認知症事業連絡会	5	4・5・7・9・1月
総合相談支援事業		
認知症介護者家族の集い	2	4・10月
家族介護者教室	1	9月
認知症サポーター養成講座	3	8・1月(8月2回)
認知症サポーター養成講座(事業者向け)	1	9月
認知症サポーター養成講座(圏域)	1	9月
認知症サポーターステップアップ全体交流会	1	7月
認知症サポーターステップアップ(単独)	1	2月
認知症サポーター交流会(単独)	1	2月
ものわずれ相談	2	5・11月
地域の担い手づくり講演会	1	1月
介護予防講演会/見守り・支えあい活動発表会	1	2月
ふれあい交流サロン(ひだまりサロン)	19	毎月(第1・第3水曜日)
ふれあい交流サロン(さくらのしずくカフェ)	10	毎月(第2火曜日)
介護予防で元気はつらつサロン	1	8月
オレンジカフェ(認知症カフェ)	11	毎月(第4・土曜日)
在宅医療・介護連携推進事業		
サポート医事例検討会	2	6・2月
顔の見える連携会議	1	9月
権利擁護事業		
障害者・高齢者虐待防止啓発講演会	1	11月
北区高齢者虐待対応マニュアル検討会	8	7・8・9・10・11・12月(10・11月は2回)
包括的・継続的ケアマネジメント事業		
ケアマネ支援講座	2	10・11月
北区おたがいさま地域創生会議	1	7月
地域ケア個別会議	2	8・2月
地域包括ケア連絡会(圏域・地域ケア会議推進会議・協議体2層)	1	10月
その他		
北区介護あんしんフェア	1	11月
情報セキュリティ研修	1	3月
ひだまりフィットネス(介護予防体操教室)	928	毎週月・火・木・金
GH運営推進会議・認知症デイ運営推進会議	7	5・10・6・11・8・12・9月
認知症啓発活動	1	8月
総合的な防災診断(高齢者宅訪問)	12	10・2月(各月6件実施)
飛鳥晴山苑 高齢者あんしんセンター PR活動	4	5・8・10・11月
飛鳥晴山苑 納涼祭	1	8月
実習生受け入れ(高等看護学院)	8	4(2回)・5・6・9・10・2・3月